

ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立川津小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	総合	まもろう！わたしたちの くらしと川津のまち	松江市防災危機管理課 川津公民館 児童民生委員
ねらい	過去の災害を調べたり地域の方々のお話を聞いたりすることを通して、災害の危険性や備えの必要性について知り、地域の方々と一緒に川津のまちのためにできる防災・減災を計画・実行することができる。		
<p>1 取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本各地に様々な自然災害が発生していることを理解し、学習問題をもつ。 ○社会科の防災学習後に、松江市の防災について松江市防災危機管理課の方に、川津のまちの防災について川津公民館の方に話を聞く。 ○川津公民館の方、民生児童委員の方と一緒に、マイ・タイムラインを作成する。 ○学習したことをまとめ、川津公民館の方・民生児童委員の方、保護者に発表する。 <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災対策を行っている方から実際に話を聞くことで、自分たちのまちの防災力を知り、自分たちにできる取組を考えることができること。 ○地域の方と一緒に取組を考えることで、川津のまちを災害から守りたいという思いを共有すること。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちにできる防災・減災の取組について、ポスター・ワークショップなどの方法で伝えることを通して、表現力や発信力などの伝え合う力を養う。 <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災に必要な取組を知ることで、親や地域の大人に頼るだけでなく、自分たちにもできる取組をしようとする意欲を高めることができた。 ○誰にとっても必要な防災の取組を広めることで、地域みんなで防災について取り組んでいこうとする思いを高めることができた。 <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学びを振り返り、大切だと思ったことや伝えたいと思ったことを、紙芝居・クイズ・劇など、相手に分かりやすい話し方や見せ方を考えながら伝えることができた。 <p>4 課題や今後の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会科「自然災害からくらしを守る」の単元と関連付けながら、年間を通して探究活動を行ってきた。児童の思いや願いを取り入れながらも、年間の流れを見通せる単元構造をしっかりと組み立てることで、児童の意欲を継続させながら活動することができた。今回は、市の出前授業と公民館見学、地域の方々とのマイ・タイムライン交流会を行ったが、今後も様々な関係機関と連携を図って充実した取組を行うことで、川津のまちで自分ができることを意欲的に考えていこうとする児童の姿が見られると考える。 			



*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)